

秋田市ホームページで市長の動向や記者会見の内容などをお伝えしています。
<http://www.city.akita.akita.jp/>

市長のほつて コラム

市長 佐竹敬久



最近のどきどきから

本市を取り囲む麗容な山々の緑が輝きを増し、まもなく躍動の季節、初夏を迎えようとしています。

しかし、私の頭からは多数の死傷者を出した四月末の尼崎の電車脱線事故の悲惨な状況が消え去りません。犠牲になられたかたがたには、ただただお気の毒としか言いようがなく、心からご冥福をお祈りします。

今回の事故は決して他人事ではなく、本市においても想定外のことが勃発する可能性は存在し、まさに他山の石とすべく多くの事柄を示唆した出来事です。さっそく連休後の幹部会議において、本市での想定外の事態と対策について、あらためて想像力をたくましくして十分に検討・検証するように指示した次第です。

さて、今回の事故の要因には幾つかの見方があるような気がします。ひとつは、まさに事故の直接原因とそこに至った会社の安全管理上の問題であり、この点と責任の所在を明らかにするとともに、再発防止に万全を期すことは当然のことです。

今ひとつは、より大きな視点から



秋田は安全・安心！ な春でした...
(金足東小学校近くの田んぼで)

の考察で、まさに現代社会の流れや近年の国土形成の方向に対し、原点にも触れるような大きな警鐘を鳴らしているようにも感じられます。

世の中は、改革あるいは変革という錦の御旗のもとで、企業や公共体などあらゆる組織が、自動化、省力化、コスト削減など、いわば経済効率性の追求にしゃにむに突き進んでいます。もちろん必要性があり、当然にリスクや状況変化に対する新たな対応などを見越しながら進めてお

り、プラスになる面が数多くあることは事実です。

しかし、自動化の限界や省力化いけば人減らしにより穴埋めできない部分は必ず存在しますし、またマニュアル化や過度の分担化により、人間の総合判断力が減退してきているなどの問題も生じています。

加えて、機能と人口の大都市部への過度な集中という面を無視できません。今回の事故を契機に電車の運転間隔の拡大やスピード低減などがいわれていますが、膨大な乗車需要をどうするかという問題が生じます。

地球温暖化対策と言いながら、一方で冷房排熱などによる熱帯化を加速させる大都市圏における巨大ビル群の建設は止まることなく、また過密化した東京など大都市部では、いずれ予想される巨大地震への耐力が極度に低下し、万が一の場合には壊滅的被害を受けると言われています。

大都市部集中と裏腹の地方の過疎化と衰退を見るにつけ、国土全体を俯瞰しながら進める大きな政治が必要なのではと思われる事故でした。



天野さん(左)、目黒さん



左から今井さん、渡辺さん、桑原さん

小・中学生を消防協力者表彰
みんなで協力して被害を最小限に
 秋田消防署では、消防協力活動を行った、八橋小学校六年生の今井映里さん、桑原いろはさん、渡辺朱音さん、泉中学校二年生の天野実希さん、目黒みかさんの五人を表彰しました。
 四月十四日、天野さんと目黒さん

が八橋鯉沼町にある駐車場で枯れ草が燃えているのを発見。火事ぶれをするとともに、近くにいた今井さんたちに声をかけ、消防車が来るまでに枯れ草を足で踏むなど協力して消火活動にあたりました。
 天野さんは、「火は少し怖かったのですが、一人だと焦ってしまったりと思う。また火事を見つけたことがあっても、ちゃんと行動したい」と話してくれました。
 被害が最小限に収まったのも、みんなの的確な判断があったからこそですね。



4月28日、市内ホテルで行われた表彰式

平成17年度住民活動賞 地域活動に尽力

受賞者のみなさん 敬称略

- 石井一之(保戸野) 近江宏平(旭北)
 佐藤三郎(川尻) 鈴木八重子(茨島)
 須藤二郎(土崎中央) 石川芳男(土崎北)
 能登谷友勝(土崎南) 米田次男(寺内)
 伊藤謙三(将軍野) 山本喜昭(外旭川)
 利部雄規(新屋) 守屋三洋子(明德)
 高橋重喜(旭川) 渡辺八郎(広面)
 川村剛(下北手) 鎌田美代治(太平)
 伊藤睦男(東) 妹尾克利(桑山)
 岡部司(牛島) 川 信夫(仁井田)
 伊藤辰巳(四ツ小屋) 鈴木勇一郎(飯島)
 渡邊喜三郎(金足)
 中通東通地区保健推進委員会
 上北手地区市民憲章推進協議会保健推進部

上級 市職員の採用試験



受付 6月6日(月) 17日(金)

試験日 7月3日(日)

試験会場
 秋田会場 秋田大学一般教育2号館
 東京会場 食糧会館(消防を除く)
 (東京都千代田区麹町)

試験区分▶採用予定数 (職務内容)	受験資格
行政▶14人 (一般行政事務)	昭和53年4月2日から昭和59年4月1日までに生まれたかたで、大学もしくはこれと同等と認められる学校を卒業、または来春3月までに卒業見込みのかた
土木▶2人 (専門技術的業務)	昭和51年4月2日から昭和59年4月1日までに生まれたかたで、大学もしくはこれと同等と認められる学校を卒業、または来春3月までに卒業見込みのかた
建築▶1人 (専門技術的業務)	
化学▶3人 (専門技術的業務)	
電気▶1人 (専門技術的業務)	昭和35年4月2日以降に生まれたかたで、獣医師免許を有するかた、または平成17年度中に実施される国家試験において、獣医師免許を取得見込みのかた
獣医師▶3人 (専門技術的業務)	
消防▶2人 (消防業務)	昭和53年4月2日から昭和59年4月1日までに生まれたかたで、大学もしくはこれと同等と認められる学校を卒業、または来春3月までに卒業見込みのかた

試験方法

一般教養試験(全員)、専門試験(行政、土木、建築、化学、電気、獣医師)、論文(消防)、軽易な体力測定(消防)

試験案内書をさしあげています

「試験案内書」は、市役所1階の案内、人事課、土崎・新屋支所、市民サ・ビスセンター(アルヴェ1階)、河辺・雄和市民センター、秋田市東京事務所でさしあげます。消防については、消防本部総務課、各消防署、分署、出張所、秋田市東京事務所でさしあげます。必ず「試験案内書」をご覧になり、案内書に従って手続きをしてください。

受付期間と場所

6月6日(月)から17日(金)まで
 人事課tel(866)2012

消防は消防本部総務課tel(823)4000

中・初級の試験は9月18日(日)に行いますが、詳しくは広報あきた8月1日号でお知らせする予定です。